

2026年度 シラバス

科目名	美容総合技術	区分	選択	単位数	3単位	対象学年	1年
担当教員	佐渡 中西 峰須賀	実務経験	有				
学修内容	ブライダルの基礎知識資生堂ステージワークスのメイク教材を用いたメイクアップの基礎知識、基礎技術の習得美容師・メイクアップアーティストとして必要なメイクアップの知識と記述の向上を図る。 ネイルの基礎知識・ネイルケア・カラーリング・検定アート・3級検定対策						
到達目標	ブライダルの基礎知識を深め、スタンダードなメイクアップの技術を習得する（スキンケア/ベースメイク/ポイントメイク）、JNECネイリスト技能検定試験3級合格						
授業の方法	授業は、実技を中心に行う。必要事項を板書し、反復して練習を行い実技習得を目指す。学生の完成度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	後期1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA,B,C,Dで表し、A,B,Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	コンクールなどに出場し経験を積む、授業で行ったことの反復練習						
実務経験に基づく授業内容	化粧品業界の話や「こんな髪型、肌トラブルの人への対応方法」などの実体験、男性の場合など様々な話をし、授業で学ぶことが現場にどうつながるか先が見える様工夫をしている。実務を行う中で常に不特定多数のお客様と直接接客し、様々なスタイル提供はもちろん、日々新しいものを提供するよう努めております。 技術はもちろん、コミュニケーション能力も日々実践しております。 そのような経験から、学生に対してネイリストに関しても我々と同じ不特定多数のお客様と接する業務である為幅広い知識、接客の大切さを伝える事で在席時及び卒業直後より実践で発揮できるよう教育していきます。						
使用教材	着物一式、ヘアメイク道具一式、配布プリント（ファイルにとじる）、JMAテクニカルシステム（ベーシック）						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第1回	新郎新婦のヘア・メイク 洋装・和装の違い	相モデルにてウィッグを使用し学習する					
第2回		相モデルにてウィッグを使用し学習する					
第3回		相モデルにてウィッグを使用し学習する					
第4回		相モデルにてウィッグを使用し学習する					
第5回		相モデルにてウィッグを使用し学習する					
第6回	留袖	ミセスの第一礼装展示					
第7回	留袖	ミセスの第一礼装展示					
第8回	振袖	ミセスの第一礼装展示					
第9回	振袖	ミセスの第一礼装展示					
第10回	ドレス	ドレス展示					
第11回	ドレス	ドレス展示					
第12回	試着など	留袖、振袖、ドレスの試着					
第13回	試着など	留袖、振袖、ドレスの試着					
第14回	試着など	留袖、振袖、ドレスの試着					
第15回	試着など	留袖、振袖、ドレスの試着					
第16回	ガイダンス	・教材確認と説明 ・顔のパーツ、ゾーンの説明 ・ファンデーションの色					
第17回							
第18回							
第19回	メイク道具の セッティング モデルセッティング ベースメイク	・（タオル）ケープ、ひざ掛けのかけ方 ・髪の毛の留め方 ・メイクアップベース ・コントロールカラー ・ファンデーション					
第20回							
第21回							

2026年度 シラバス

科目名	美容総合技術	区分	選択	単位数	3単位	対象学年	1年
担当教員	佐渡 中西 峰須賀	実務経験	有				
学修内容	ブライダルの基礎知識資生堂ステージワークスのメイク教材を用いたメイクアップの基礎知識、基礎技術の習得美容師・メイクアップアーティストとして必要なメイクアップの知識と記述の向上を図る。 ネイルの基礎知識・ネイルケア・カラーリング・検定アート・3級検定対策						
到達目標	ブライダルの基礎知識を深め、スタンダードなメイクアップの技術を習得する（スキンケア/ベースメイク/ポイントメイク）、JNECネイリスト技能検定試験3級合格						
授業の方法	授業は、実技を中心に行う。必要事項を板書し、反復して練習を行い実技習得を目指す。学生の完成度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	後期1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA,B,C,Dで表し、A,B,Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	コンクールなどに出場し経験を積む、授業で行ったことの反復練習						
実務経験に基づく授業内容	化粧品業界の話や「こんな髪型、肌トラブルの人への対応方法」などの実体験、男性の場合など様々な話をし、授業で学ぶことが現場にどうつながるか先が見える様工夫をしている。実務を行う中で常に不特定多数のお客様と直接接客し、様々なスタイル提供はもちろん、日々新しいものを提供するよう努めております。 技術はもちろん、コミュニケーション能力も日々実践しております。 そのような経験から、学生に対してネイリストに関しても我々と同じ不特定多数のお客様と接する業務である為幅広い知識、接客の大切さを伝える事で在席時及び卒業直後より実践で発揮できるよう教育していきます。						
使用教材	着物一式、ヘアメイク道具一式、配布プリント（ファイルにとじる）、JMAテクニカルシステム（ベーシック）						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第22回	メイク道具の手入れ スキンケア ベースメイク	・ポイントクレンジング ・ベースクレンジング ・化粧水 ・ファンデーションまでの復習 ・コンシーラー					
第23回							
第24回							
第25回	スキンケア ベースメイク アイブロウ	・スキンケア復習 ・コンシーラーまでの復習 ・フェイスパウダー					
第26回							
第27回							
第28回	ベースメイク 立体感の演出 アイブロウ アイシャドウ	・ブラシテクニック ・ローライト ・ハイライト ・チーク ・アイブロウ復習					
第29回							
第30回							
第31回	中間テスト練習 立体感の演出 アイメイク	・ローライト、ハイライト、チーク復習 ・アイシャドウ復習 ・アイライン、アイラッシュカーラー、マスカラ					
第32回							
第33回							
第34回	中間テスト アイメイク リップ	・中間テスト：相モデル【ベースメイク】 モデルセッティング～化粧水～ベースメイク20分 ・アイメイク復習					授業ファイル回収
第35回							
第36回							
第37回	学年末テスト範囲 内容の確認 ベースメイク アイブロウ ポイントメイク	・ブラシテクニック復習 ・ドローイング練習 ・ポイントメイク					
第38回							
第39回							
第40回	学年末テスト メイクチャート作成 カラーメイク	・筆記20分 ・ポイントメイク					
第41回							
第42回							
第43回	応用	・カットクリース ・アイラッシュ ・アイメイク ・アイブロウ					
第44回							
第45回							

2026年度 シラバス

科目名	美容総合技術	区分	選択	単位数	3単位	対象学年	1年
担当教員	佐渡 中西 峰須賀	実務経験	有				
学修内容	ブライダルの基礎知識資生堂ステージワークスのメイク教材を用いたメイクアップの基礎知識、基礎技術の習得美容師・メイクアップアーティストとして必要なメイクアップの知識と記述の向上を図る。 ネイルの基礎知識・ネイルケア・カラーリング・検定アート・3級検定対策						
到達目標	ブライダルの基礎知識を深め、スタンダードなメイクアップの技術を習得する（スキンケア/ベースメイク/ポイントメイク）、JNECネイリスト技能検定試験3級合格						
授業の方法	授業は、実技を中心に行う。必要事項を板書し、反復して練習を行い実技習得を目指す。学生の完成度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	後期1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA,B,C,Dで表し、A,B,Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	コンクールなどに出場し経験を積む、授業で行ったことの反復練習						
実務経験に基づく授業内容	化粧品業界の話や「こんな髪型、肌トラブルの人への対応方法」などの実体験、男性の場合など様々な話をし、授業で学ぶことが現場にどうつながるか先が見える様工夫をしている。実務を行う中で常に不特定多数のお客様と直接接客し、様々なスタイル提供はもちろん、日々新しいものを提供するように努めております。技術はもちろん、コミュニケーション能力も日々実践しております。そのような経験から、学生に対してネイリストに関しても我々と同じ不特定多数のお客様と接する業務である為幅広い知識、接客の大切さを伝える事で在席時及び卒業直後より実践で発揮できるよう教育していきます。						
使用教材	着物一式、ヘアメイク道具一式、配布プリント（ファイルにとじる）、JMAテクニカルシステム（ベーシック）						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第46回	理論	ネイル概論 テーブルセッティング					
第47回							
第48回							
第49回	ネイルケア基礎	消毒・ファイリング・キューティクルクリーン ネイル概論					
第50回							
第51回							
第52回	ネイルケア基礎	消毒・ファイリング・キューティクルクリーン ネイル概論					
第53回							
第54回							
第55回	ネイルケア基礎	ネイルケア・カラーリング・カラーオフ ネイル概論・検定説明					
第56回							
第57回							
第58回	ネイルケア基礎	ネイルケア・カラーリング・カラーオフ ネイル概論・検定説明					
第59回							
第60回							
第61回	ネイルケア基礎	検定技術練習 筆記過去問					
第62回							
第63回							
第64回	ネイルケア基礎	検定技術練習 筆記過去問					
第65回							
第66回							
第67回	ネイルケア基礎	検定技術練習 筆記過去問					
第68回							
第69回							

2026年度 シラバス

科目名	美容総合技術	区分	選択	単位数	3単位	対象学年	1年
担当教員	佐渡 中西 峰須賀	実務経験	有				
学修内容	ブライダルの基礎知識資生堂ステージワークスのメイク教材を用いたメイクアップの基礎知識、基礎技術の習得美容師・メイクアップアーティストとして必要なメイクアップの知識と記述の向上を図る。 ネイルの基礎知識・ネイルケア・カラーリング・検定アート・3級検定対策						
到達目標	ブライダルの基礎知識を深め、スタンダードなメイクアップの技術を習得する（スキンケア/ベースメイク/ポイントメイク）、JNECネイリスト技能検定試験 3級合格						
授業の方法	授業は、実技を中心に行う。必要事項を板書し、反復して練習を行い実技習得を目指す。学生の完成度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	後期 1 回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA,B,C,Dで表し、A,B,Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	コンクールなどに出場し経験を積む、授業で行ったことの反復練習						
実務経験に基づく授業内容	化粧品業界の話や「こんな髪型、肌トラブルの人への対応方法」などの実体験、男性の場合など様々な話をし、授業で学ぶことが現場にどうつながるか先が見える様工夫をしている。実務を行う中で常に不特定多数のお客様と直接接客し、様々なスタイル提供はもちろん、日々新しいものを提供するよう努めております。技術はもちろん、コミュニケーション能力も日々実践しております。そのような経験から、学生に対してネイリストに関しても我々と同じ不特定多数のお客様と接する業務である為幅広い知識、接客の大切さを伝える事で在席時及び卒業直後より実践で発揮できるよう教育していきます。						
使用教材	着物一式、ヘアメイク道具一式、配布プリント（ファイルにとじる）、JMAテクニカルシステム（ベーシック）						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第70回	検定対策	検定実技練習（通し）					
第71回							
第72回							
第73回	検定対策	検定実技練習（通し）					
第74回							
第75回							
第76回	ネイルアート	ネイルアート特別授業					
第77回							
第78回	ネイルアート	ネイルアート特別授業					
第79回							
第80回	ネイルアート	ネイルアート特別授業					
第81回							
第82回	ネイルアート	ネイルアート特別授業					
第83回							
第84回	ネイル試験	ネイル実技テスト（前半） ネイルアート（ネイルチップ提出）					
第85回							
第86回							
第87回	ネイル試験	ネイル実技テスト（後半） ネイルアート（ネイルチップ提出）					
第88回							
第89回							
第90回	まとめ	まとめ					

2026年度 シラバス

科目名	美容総合技術	区分	選択	単位数	2 単位	対象学年	2 年
担当教員	佐渡 平塚 山下 山崎	実務経験	有			コース	ブライダルスタイリストコース
学修内容	ネイルテクニックの応用技術（リペアテクニック、ジェルネイル、スカルプチュア、アート等）を習得する ヘアアレンジを自分でデザインし、創り上げることができる						
到達目標	JNECネイリスト技能検定2級、JNAジェルネイル検定初級の技術を身につける。						
授業の方法	実技を中心とし、基本的には相モデルで実習を行う。注意事項等は板書し、理解度を上げていく。						
成績評価の方法と基準	授業内での技術チェック、作品制作における作品の完成度で評価。 成績評価はA、B、C、Dで表し、A、B、Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容							
実務経験に基づく授業内容	ネイリストとしての経験を活かし、様々なお客様のニーズに応えるために、基礎はもちろんのこと、応用の技術・知識を伝授している。 また、ヘアアレンジをし美容師の楽しさを知る。トレンドカジュアルアレンジ～お呼ばれヘアアレンジを学ぶコテ、アイロンの操作習得、人頭でも作ることができるようになる。						
使用教材	JNAテクニカルシステムベーシック、ネイル道具一式						
履修に当たっての留意点							
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	教材配布・確認	教材の確認、説明					
第2回	ネイルケア	ケア相モデル実習					
第3回	ネイルケア	ケア相モデル実習					
第4回	ネイルケア・カラー	ケア・カラー相モデル実習					
第5回	リペア	リペアの種類、プレパレーションの重要性 * オフの説明					
第6回	リペア	ネイルラップテクニック（レジン）デモ→実習（相モデル）					
第7回	チップラップ	チップの種類、選び方					
第8回	チップラップ	チップの種類、選び方					
第9回	チップラップ	デモ→実習 * オフの仕方					
第10回	チップラップ	チップラップ相モデル実習（ケア～チップラップ）					
第11回	チップラップ	チップラップ相モデル実習（ケア～チップラップ）					
第12回	ネイルアート	フレンチ、レース、ウォーターマーブル					
第13回	ネイルアート	フレンチ、レース、ウォーターマーブル					
第14回	エンボスアート	五枚花（涙型・ひし形）					
第15回	エンボスアート	五枚花（涙型・ひし形）					
第16回	3Dアート	五枚花、バラ					
第17回	3Dアート	五枚花、バラ					
第18回	作品制作	アートチップ制作					
第19回	作品制作	アートチップ制作					
第20回	ジェルネイル	ジェルネイル基礎理論、デモ					
第21回	ジェルネイル	ジェルネイル基礎理論、デモ					
第22回	ジェルネイル	ジェルネイル実習(チップ)					
第23回	ジェルネイル	ジェルネイル実習(チップ)					
第24回	ジェルネイル	相モデル実習（フローター）					
第25回	ジェルネイル	相モデル実習（フローター）					
第26回	ジェルネイル	ジェルアート（マーブル、ピーコック）レッスン					
第27回	ジェルネイル	ジェルアート（マーブル、ピーコック）レッスン					
第28回	ジェルネイル	ジェルアート（フレンチ、グラデーション）レッスン					
第29回	ジェルネイル	ジェルアート（フレンチ、グラデーション）レッスン					
第30回	ジェルネイル	ジェルアートレッスン					

2026年度 シラバス

科目名	美容総合技術	区分	選択	単位数	2 単位	対象学年	2 年
担当教員	佐渡 平塚 山下 山崎	実務経験	有			コース	ブライダルスタイリストコース
学修内容	ネイルテクニックの応用技術（リペアテクニック、ジェルネイル、スカルプチュア、アート等）を習得する ヘアアレンジを自分でデザインし、創り上げることができる						
到達目標	JNECネイリスト技能検定2級、JNAジェルネイル検定初級の技術を身につける。						
授業の方法	実技を中心とし、基本的には相モデルで実習を行う。注意事項等は板書し、理解度を上げていく。						
成績評価の方法と基準	授業内での技術チェック、作品制作における作品の完成度で評価。 成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の 具体的内容							
実務経験に基づく授業内容	ネイリストとしての経験を活かし、様々なお客様のニーズに応えるために、基礎はもちろんのこと、応用の技術・知識を伝授している。 また、ヘアアレンジをし美容師の楽しさを知る。トレンドカジュアルアレンジ～と呼ばれヘアアレンジを学ぶコテ、アイロンの操作習得、人頭でも作ることができるようになる。						
使用教材	JNAテクニカルシステムベーシック、ネイル道具一式						
履修に 当たっての 留意点							
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第31回	リボンスタイル	リボン風スタイル					
第32回	リボンスタイル	リボン風スタイル					
第33回	抱き合わせスタイル①	毛先を動かしたスタイル					
第34回	抱き合わせスタイル①	毛先を動かしたスタイル					
第35回	三つ編み・編み込み フィッシュボーン	三つ編み・編み込みスタイル（裏・表）、ローブ編み フィッシュボーンを加えたスタイル					
第36回							
第37回	抱き合わせスタイル②	基礎的な抱き合わせ					
第38回	抱き合わせスタイル②	基礎的な抱き合わせ					
第39回	アレンジスタイル①	くるりんぱを使った浴衣に合うスタイル					
第40回	アレンジスタイル①	くるりんぱを使った浴衣に合うスタイル					
第41回	抱き合わせスタイル③	シンプルな抱き合わせ、編み込み、ローブ編みを含む					
第42回	抱き合わせスタイル③	シンプルな抱き合わせ、編み込み、ローブ編みを含む					
第43回	アレンジスタイル②	シニヨンスタイルで着物に似合うスタイル					
第44回	アレンジスタイル②	シニヨンスタイルで着物に似合うスタイル					
第45回	アレンジスタイル③ ミニテスト	ハーフアップ、ローブ編み				確認テスト	
第46回		ハーフアップ、ローブ編み				確認テスト	
第47回	コンテストスタイル①	面を使ったモードスタイル					
第48回	コンテストスタイル①	面を使ったモードスタイル					
第49回	コンテストスタイル②	毛先を動かしたスタイル					
第50回	コンテストスタイル②	毛先を動かしたスタイル					
第51回	自由制作	アップスタイル					
第52回	自由制作	アップスタイル					
第53回	自由制作	成人式アップスタイル					
第54回	自由制作	成人式アップスタイル					
第55回	自由制作	自由制作					
第56回	自由制作	自由制作					
第57回	自由制作	自由制作					
第58回	自由制作	自由制作					
第59回	自由制作	1 年間の復習					
第60回	自由制作	1 年間の復習					